



Miki
International
Association

vol.
65

2018.12

三木市国際交流協会

2018/11/11 かじやの里メッセみき

ぐるっとワールド in Miki



秋晴れの一日、五感を刺激する異文化交流「ぐるっとワールド in Miki」がかじやの里メッセみきで開催されました。三木ロータリークラブとの共催で、初めて企画するイベントでしたが、ボランティアを含むスタッフ総勢130人以上が関わり、来場者が700人を上回る大盛況でした。

展示ブースでは、イギリスなど10か国以上の外国人による母国紹介、高校生によるボランティア活動紹介などが行われました。

飲食ブースでは、東南アジアの炭焼きの香ばしい料理やカレー、ブラジル人女性による美味しいケーキの出店などに長蛇の列ができました。

ステージは観客との距離も近く、エキゾチックな舞踊を観たり、珍しい竹の楽器で合奏をしたり、会場は大いに盛り上がりいました。

外国人にそれぞれの国をクイズや写真で紹介してもらい、三木市にいながら、まるで世界をぐるっと巡ったような体験ができるイベントでした。国籍や老若男女を問わず、多文化や多様性を理解する姿勢が人々をつなぎました。このような地域の草の根交流が継続することで、今後の多文化共生社会が推進されることでしょう。

最後になりましたが、イベントにご参加、ご協力していただいた皆様、どうもありがとうございました。(関連記事はP6にあります。)

世界の国のコンニチハ⑤
～インドネシア編～



インドネシア語

SALAMAT SIANG
(スマラッサン)



監修: アンゴロさん・レズキさん・テグさん・イブヌさん

姉妹都市フェデレーション市を訪問しました ～姉妹都市提携20周年の節目に再調印～

仲田市長、内藤市議会議長、市民12名(高校生7名、大学生3名、大人2名)、事務局2名からなる三木市民訪問団がオーストラリア・ニューサウスウェールズ州・フェデレーション市を訪問しました。

1997年に旧吉川町と旧コロワ市が姉妹都市提携を結び、20周年を記念した今回の訪問。旧コロワ市が隣接するウラナ市と合併しフェデレーション市となつたことを受け、再調印を行いました。

両市が合併を経た今、若い世代が新たに築いた繋がりを継承されることが期待されます。

 8月21日

両市代表による再調印式が執り行われました



その後、訪問団は三木市や日本文化についてプレゼンをしました。全員が法被を着て、秋祭り、金物や高校生活等を英語で紹介しました。

 8月22日

オークランドセントラルスクールを訪問



小学生から高校生までが一つの学校で勉強している風景は新鮮でした。共に授業を受けたり、昼食を食べたり、スポーツをして交流しました。

 8月23日

コロワハイスクールを訪問

学生に案内してもらいながら、現地の高校生活を体感しました。交流後は、Instagram等のSNSで連絡先を交換している光景が見られました。



✿ 8月23日～24日 牧場で体験ツアー

大自然の中にある牧場で体験ツアーに参加しました。トラクターでの牧場ツアーでは、規模の大きさにびっくり。オーストラリア民謡ダンスを習い、豪州文化体験をしました。



✿ 8月25日 ホストファミリーとの自由な時間



✿ 8月26日 送別会



市関係者やホストファミリーが集い、食事を囲みながら、お別れの会をしました。訪問団の提案で、お世話になったフェデレーション市職員さんの退職をお祝いしました。

今回は、「おもてなし」と「おもいやり」に感激した交流でした。

市民センターでは、ウェルカムフードやドリンク、町にゆかりのある記念品と市長や議員さんの笑顔で迎えられました。私たちの拙い英語に熱心に耳を傾けてくださるとともに、自らは日本語が出来ないことが申し訳ないと気配りの言葉がありました。

ハイスクールには本格的な機械や道具が設備され、物作りの技術を習得する機会が与えられていました。各家庭のゴミ処理はコンポストを利用。土産物の袋はビニール袋ではなく、薄い紙袋、もちろん買い物はマイバッグの持ち込みです。

ある美術館には、先住民アボリジニに対して行った過去を振り返る若者の「Sorry」と書かれた作品群が展示されていました。移民の国ならではの成功例や問題を聞くことが出来ました。

日常生活を体験することで、多くの事を得ることが出来るこの姉妹都市交流は、特に若者に良い影響を与えることでしょう。

姉妹都市交流事業 バイセリア市民訪問団をお迎えして

姉妹都市アメリカ・バイセリア市より10歳から81歳までの9名の訪問団が三木市を訪れました。2年前の姉妹都市交流50周年を記念して訪問されたグブラー市長も再来日。幅広い年代の訪問団のみなさんは行く先々で様々な方々と交流され、友情を育みました。特にホームステイについてはボランティアのみなさんにお世話になり、日本の生活文化に触れていただきました。また、三木市にとってもかけがえのない素敵なお思い出を残してくださいました。

10/4 欽迎会
多くの職員のみなさんに迎えられ終始笑顔でした。

会社見学
三木市の金物鉋で鰯ぶし削りを体験しました。

京都見学
バスで京都観光に行きました。伏見稻荷神社、三十三間堂見学、新京極でショッピングを楽しみました。

うちわ絵付け
真剣な面持ちで日本の文化に触れる貴重な体験でした。

日本料理教室
初めての日本料理、楽しみながらおいしいお寿司ができ上りました。

送別会
ホストファミリーとの別れを惜しみ涙があふれる感動的な場面もあり、盛大な会となりました。

子ども英語暗唱大会

共催:三木市教育委員会・兵庫県立三木高等学校



今年も小学生による英語暗唱大会が開催されました。低学年19名、高学年15名の計34名が参加し、日頃の勉強の成果を発表しました。2015年に始まった当大会は、今回で4回目となり、レベルもますます上がってきました。子どもたちは単なる英語の暗記ではなく、ストーリーを自分のものとし、感情をこめて発表しているのが印象的でした。この経験をもとに将来、国際感覚を身につけた子どもたちが三木市から世界に羽ばたくことでしょう。審査員には、市内小学校のALTや学識者を、司会進行には三木高校国際総合学科の生徒2名にお願いしました。結果は右の通りです。

低学年の部	
大賞	梶 涼葉
教育委員会賞	向野 慶
国際交流協会賞	長谷川緩羽 (敬称略)

高学年の部	
大賞	林 楽々香
教育委員会賞	藤原志帆
国際交流協会賞	岡本優菜 (敬称略)

「子ども英語暗唱大会」に出場して

わたしは、今回初めて子ども英語暗唱大会に出ました。はじめは、おぼえるだけでたいへんで、本当にうまくできるか不安でした。家でもたくさんれんしゅうして本番の日をむかえました。朝からドキドキしていました。本番ではリハーサルをしたおかげであまりきんちょうはしませんでしたがいろいろと上手な人がいたので少しずつプレッシャーもかかってきました。そして本番上手にできました。わたしが気をつけていたえ顔もしっかり出せたと思います。そしてけつかはっぴょう。1番にわたしの名前がよばれてびっくりしました。うれしかったです。

三木市立自由が丘東小学校3年 梶 涼葉

兄が出場しているのを見ていきました。私もやってみたいとその時から思って自分自身初めて出場してから5年目の今年、初めて賞を頂く事が出来ました。

小学校で学習した「スイミー」が課題にありましたので、選びました。沢山練習しました。本番はとても緊張しましたが、練習の成果が出せたと思いました。

来年は小学校最後の挑戦になりますが、又頑張って出場したいと思っています。

三木市立自由が丘東小学校5年 林 楽々香



第1回国際理解講座 外国人とのコミュニケーションのためのやさしい日本語

講師 水野 マリ子さん（神戸YWCA学院日本語教師養成コース登録講師）



三木市の在住外国人は日々増加しています。地域で暮らす外国人に何かを伝えたいとき、さらに交流へつなごうとしたら、私たちはどうしたらよいのでしょうか。この講座では外国人との暮らしやすい地域づくりを考え、外国人にとって分かりにくい日本語をやさしい日本語に変換する方法を学びました。有事の際の伝達事項やバス旅行の案内などを試行錯誤しながら作成しました。受講者からは、一語一句を変換しなくとも、外国人に伝えることができる方法を知ることができたとの感想をいただきました。

2018/9/9 JICA関西&北野工房

第2回国際理解講座 インターナショナルバスツアー

ことばの教室日本語教室の外国人と会員などの皆さんのが参加し、ブラジルで活動された遊川章宏氏からJICAの国際貢献の事例の紹介がありました。また、外国人の方と接した時に、外見や国籍に関係なく、想像力を膨らませ、相手の立場に立って言動することが大切だと教えていただきました。

お昼はJICA食堂のバヌアツ料理をいただきました。最後は神戸北野工房に立ち寄り、ショッピングを楽しみました。初対面の方々とも一日を通して打ち解け合い、外国人の方々と一般の方々が交流するとても良い機会になりました。



2018/8/1・10/28 関西国際大学

外国人児童の居場所づくり



シリア人3名とフィリピン人4名の子どもたちは夏休みを利用して、大学生のお兄さんに宿題支援をしてもらいました。春のピザ作りとは少し趣向を変えることで、勉強と遊びとメリハリをつけることができました。カフェテリアでおひるごはんと一緒に、そしてかき氷も作って食べました。



あじあん祭では、大学生のお兄さんと留学生の国巡りをし、異文化交流を楽しみました。

金物まつりお礼

物品の提供、ご購入、ありがとうございました。净財は、**213,030円**です。
すべて、海外で必要とされている方々へ、皆様の温かいお気持ちとともににお届けします。



COOL MIKI

2019年2月3日(日) 三木山森林公園「音楽ホール」
(三木市福井字三木山 2465-1)
※申込・詳細は、協会までお問い合わせください。

第1部 英語 de 落語
開演: 13:00~
入場料【一般】 前売 500円
当社 800円
※席に限りがあります!!
お早目に!!
桂福龍

第2部 日本語 de 発表
開演: 14:30~ 入場無料
異文化の環境で暮らす外国人が、日頃「気づいたこと、思ったこと」を日本語で発表します。
ぜひお聴きください!!
小夜姫

第3回 国際理解講座

**透明な外国人たち
彼らに支えられた街TOKYO**
(第26回FNSドキュメンタリーノミネート作品)

ドキュメンタリー
上映会&トーク
制作者・市内在住
技能実習生による

2019年1月14日(月・祝)
13:00~15:00
三木市立市民活動センター
3階 大会議室
※申込・詳細は、協会まで
お問い合わせください。

参加費
無料
要申込み



第3回 多文化共生理解講座

**キッズインターナショナル
~インドってどんな国?~**

2019年1月20日(日)
10:30~12:00 (受付は10:00~)
三木市立教育センター4階大研修室
インド出身のクマールさんとの交流会
・インドのことがわかるお話、クイズ
・世界にひとつだけのしおりづくり
※申込・詳細は、協会までお問い合わせください。

準備
飲み物、100円 (保険代)
クマールさんへの質問
定員
30人 (小学生のお子さま)
保護者の方もどうぞ!




英語落語の季ほどぎ

2019年1月7日(月) 17:15~18:45
場所: 教育センター4階大研修室
講師: アマチュア落語家 須磨乃家 茶里 (Sumanoya Charley)
参加費: 無料 (対象: 会員のみ)
英語で小噺や落語をされた経験のある方を対象で、
一作品を習得します。
*お席が限られていますので、お申し込みをお早めにお願いします。
※申込・詳細は、協会までお問い合わせください。

FMみつきい放送
76.1MHz
第1水曜日
子ども英語暗唱大会教育長賞
受賞者の発表(12月)
国際交流賞受賞者の発表(1月)

New Face > 新スタッフを迎めました!
マティノヴッチ 千秋
大自然に憧れてニュージランドに渡り、長年暮らしていました。趣味はキャンプに行くこと、釣り、ゴルフ等です。一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします!


編集あとがき



11月11日の三木ロータリークラブとの共催事業「ぐるっとワールド in Miki」をつつがなく終えることができました。これもひとえに会員の皆様のおかげだと心から感謝申しあげます。初企画であったにも関わらず、多くの賛同者が自発的に行動してください、開始から終了まで良い雰囲気で行うことができました。協力してくださった約30人の外国人に国境を越えた友情が芽生え、異国の三木市で友好関係を築くきっかけにもなりました。また、地元の人々にとっても外国人の存在を知る良い機会となつたことだと思います。

「大きな催しを行うのは大変ですが、自分には大変さへの鈍感力があるようです。」米国人・日本文学研究者のマイケル・エメリック氏のこのことばを手本とし、今後の活動に活かしたいと思います。

これからも外国人住民への丁寧な対応を心に留めつつ、日本人と彼らをつなぐマグネット的な役割を担うよう心掛けたいと思いますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いします。

編集・発行

三木市国際交流協会

Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30(三木市役所4階)

【TEL&FAX】(0794) 89-2318

【E-mail】kokusai@city.miki.hyogo.jp

【HP & facebook】[三木市国際交流協会](#) 